



みんなで創る
ふるさとわづか未来プラン
和束町第4次総合計画



平成23年3月
和束町



和東町総合計画への問題提起

和東町第4次総合計画

- ・ 道路交通の整備
- ・ 交流基盤の整備

- ・ 茶源郷PR・民間連携
- ・ 交流人口25万人

- ・ 生活の質の向上
- ・ 定住人口4300人

ずっと暮らしたい
活力と交流の茶源郷 和東

住民ニーズ

道路交通の整備◎

交流基盤の整備???

問題提起

真の住民ニーズは？

交流人口の増加が地域の課題解決に繋がるのか

和束の真の課題は何か

茶農家

- 後継者不足
- 茶価格の低迷
- 製茶用機械の更新
- 販売ルート確保

非農家

- 高齢化・介護
- 通勤時間の短縮
- 雇用の創出
- 困っていない

非住民

観光・イベント・都市農村交流・
居場所づくり・自己実現 etc

和東に関わっている人たち

所属・名前	どのように関わっているか	滞在歴
和東町職員 馬場さん、細井さん	・ 交流イベントの仕掛人	役場勤務
和東雇用促進協議会 近藤さん	・ 観光等に関する企画	非常勤
前町長選立候補者 津田さん	・ 町長選挙に出馬	選挙期間
NPO法人 村岸さん・山田さん	・ ボランティアによる民家改修 ・ 芸術家の滞在施設の整備	月数回
茶農家 上嶋さん・野池さん	・ 茶農家グループの代表者 ・ Iターンした若手茶農家	住民 Iターン
長期滞在者 藤田さん	・ 茶農家の農繁期に長期滞在アルバイト ・ 交流サロンやNPO活動のメンバー	農繁期
早稲田大学関係者	・ 和東町と協働に関する基本協定 ・ 交流サロンの実施、イベント開催	年数回

インタビューの結果

interview sheet

和束町では、第4次総合計画を策定し、観光を全面に交流人口を増やすことを目標に掲げています。これまで、茶源郷まつりや世界茶交流会など、大規模なイベントを開催しています。一方で、人と人との結びつきも重視して、縁側カフェや茶源郷倶楽部を作ろうとしています。そこで、和束町の観光についてご自身が思うところをお答えください。



お茶摘みなど農家からすれば単なる作業でも、町の人には面白い体験になるので交流は大事。



観光業の担い手が少なく、経済効果も見えない。閉鎖的な住民の意識をもっと向上させることが肝要。



茶源郷まつりも3回目になり知名度もあがっている。これからネットワークを充実させ、和束ファンの拡大を目指す。

昔からの農家と移住者との間に溝がある。理解者もいるが、全体的に冷ややか。



大半の茶農家は関心なし。ネットワークは動き出したばかりでこれから。中立の立場で自由に活動したい。



和束は景観が素晴らしく、茶摘みなどコンテンツもある。これを観光業に活かしていきたい。



インタビューの考察

住民の意向

- ・ イベントに関心もなく面倒に感じている。
- ・ 観光収入を得て
る人が少なく、
メリットがない。

観光のあり方

- ・ 何もしなければ、
人口減少を止めら
れない。
- ・ 行政,農家,住民の総
意で、都市との交
流を図る。

茶農家の課題

- ・ 価格の暴落や消費の
減少に対応するため、
個別販路を開拓する。
- ・ 交流イベントを通じ
て、和東茶ファンを
つくる。



交流サロン

交流サロンへの提言

- 和東の住民は動かないので、目に見える成果を出す。
- 住民を巻き込み、地域一帯となった取組を展開する。
- お茶関連の加工商品を開発し、新たな雇用を産み出す。
- 観光収入が地元還元されるように配慮する。
- 目的は定住人口の増加であることを常に意識する。

自分の
目標

民家改修ボランティアに参加するとともに、
お茶関連の加工商品の販路拡大に貢献すること。